

評価細目の第三者評価結果 (保育所、地域型保育事業)

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

| | 第三者評価結果 | コメント |
|-----------------------------------|---------|---|
| I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | | |
| I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | a | 理念・目標は園内への掲示、入園のしおりに掲載しており周知を図っている。新しい保育指針の浸透に注力しており、リーダー会や日々の保育を通じて職員への指導に取り組んでいる。 |

I-2 経営状況の把握

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|---|
| I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | | |
| I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a | 併設の子育て支援センター等を通して地域と触れ合う機会を有しており、法人内市の私立保育園協会・区の子育てネットワーク協議会への参加により動向の把握にあたっている。行政、協会内部会などを通して情報を収集し、地域のニーズの理解に努めている。 |
| I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 | b | 運営上の課題として、新しい保育指針の浸透、園全体の自己評価や振り返りへの職員の参画、必要な修繕や補修の実施をあげており、計画性をもって進めていく意向をもっている。 |

I-3 事業計画の策定

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|--|
| I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | |
| I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | a | 法人により、中長期計画が策定されており、地域との連携・保育の質の向上等4つの大きな柱を定め掲示により職員に周知を図っている。 |
| I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | a | 職員処遇、施設管理、行事予定等を盛り込んだ年度の事業計画が策定されている。また全体的な計画は年齢ごとの発達を見通す目安を付して作成がなされている。 |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 | | |
| I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | a | 職員からのボトムアップを意識し、リーダー会議・職員会議等からの意見の反映に努めている。保護者の意見・地域のニーズに鑑みながら検討と分析を進めている。 |
| I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。 | a | 保護者懇談会等において計画や方針についての説明し、園だよりにて活動や目標を伝え、園への理解が深まるよう努めている。 |

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|---|
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | | |
| I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | a | 行事・年齢別の指導計画等は計画と評価をセットとして取り組む習慣が根付いている。また職員自身も自己評価と管理職との面談を通して振り返りと改善の機会を有している。 |
| I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | a | 職員会議・リーダー会議が定期で開催されており、日々の保育内容とあわせて課題が検討されている。期ごとの反省と評価を次期に活かし、職員間での共有をもって運営を進めている。 |

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

| | 第三者評価結果 | コメント |
|--|---------|--|
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。 | | |
| Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | a | 役割分担表を作成し、組織の明確化にあたっては、職員の負担を考慮し、皆で負担しながら進めていく保育を目指している。 |
| Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。 | a | 働き方改革関連法案を意識し、有給休暇の取得等コンプライアンスに努めている。関係団体・法人等の指導を通して適正な運営へと導いている。 |
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | | |
| Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | a | 園長としての年間目標を掲示し、組織を牽引するよう努めている。本評価に伴う職員自己評価からも園長に対する信頼の厚さを理解することができる。 |
| Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。 | a | 書類のデータ化などにより業務の効率化を進めている。また登園管理等も電子化を早くから導入しており先見ある対応がなされている。 |

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

| | 第三者評価結果 | コメント |
|--|---------|---|
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | | |
| Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a | 常勤・非常勤、年齢や経験値などのバランスと適性に配慮しながら採用と配置に取り組んでいる。職員同士が指導・刺激しあえる環境となるよう組み合わせや持ち上がり等を考慮している。 |
| Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。 | a | 職員の自己評価・管理職との面談により目標管理・要望の把握・指導がなされている。 |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | |
| Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。 | a | 一人ひとりの職員の事情や状況を考慮しながら勤務体制が組まれている。有給休暇の取得や給与についても配慮がなされており、その向上に取り組んでいる。 |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | |
| Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | a | 職員一人ひとりが1年間の業務を振り返るための「スキルチャート評価」が策定されている。園独自の基準に基づいており、保育と栄養の2つのパターンが導入されている。具体的サービスから記録やコミュニケーションに至るまで幅広い内容となっており、園の丁寧な保育の基盤となっている。 |
| Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。 | a | 3つの基本方針」に目指す・実践する保育者像が謳われている。外部研修への参加、内部研修の開催など啓発と研鑽ができる環境の提供に努めている。 |
| Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。 | a | 適性や頻度に配慮しながら外部研修への参加が計画されている。研修後には報告書が作成され、職員が回覧する体制が整っている。新型コロナウイルスの影響により外部研修への参加が難しくなっているが、終息後は他園の取り組みから刺激を受けられるような実技系の研修受講を希望している。 |

| | | |
|--|---|--|
| II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。 | | |
| II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。 | a | コロナ禍においても衛生等に留意し、受け入れがなされている。受け入れマニュアルの策定・オリエンテーションの実施・担当者の配置など実習生の受け入れに対して整備がなされている。有意義な実習を終えて送り出せるよう取り組んでいる。 |

II-3 運営の透明性の確保

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|---|
| II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。 | | |
| II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 | a | ホームページがリニューアルされており、閲覧についても分析がなされている。決算書類・苦情処理委員会議事録についても閲覧できるようページが設定され公開されている。 |
| II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a | 経理処理の会計事務所への委託、市の指導監査・法人内部監事監査等を通して適正な運営に取り組んでいる。 |

II-4 地域との交流、地域貢献

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|---|
| II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | |
| II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。 | a | 方針と目指す姿が経営理念・事業計画・中長期計画に盛り込まれており、全体的な計画に具体的参画を明示している。 |
| II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | a | ボランティアの受け入れマニュアルを設置するなど受け入れ体制の整備がなされている。保育補助・清掃・製作物の準備等に協力を得ている。 |
| II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | | |
| II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | a | 子育て支援ネットワーク協議会への参加を通して交流を図っている。散歩等安全対策については警察署とも協働を得るなど連携を図っている。 |
| II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | | |
| II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。 | a | 潜在保育士のための就労体験受け入れ、衣類の寄付など多様なその専門性を活かした貢献がなされている。また高齢者施設への訪問などがなされていたが、新型コロナウイルスの影響により中断している。 |
| II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。 | a | 子育て支援センターの併設、保育施設体験特別事業の受託等公的活動を通して地域との交流がなされている。認可保育所としての通常業務のほか地域貢献に尽力する管理者・職員に対して改めて敬意を表す。 |

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|--|
| Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 | | |
| Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。 | a | 理念・方針を反映した各種計画の策定により子どもを尊重した保育の実践にあたっている。特に新保育指針の実行に努めており、職員の慣れについては都度指導にあたっており、客観的な考察により気づきを促すことを進める意向をもっている。 |
| Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。 | a | 個人情報保護の規定整備はもとより、プール活動時や着替え時についてもシート等の活用により配慮している。また日々の保育の中でもジェンダーフリーをわきまえた言動・行動にあたっている。 |
| Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。 | | |
| Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。 | a | コロナ禍にあっては人数を制限・衛生管理等をして園見学を実施している。体調不良時の対応・駐車場の利用等質問に応じながら説明に努めている。今後はバーチャル園見学としての動画配信についても検討がなされている。 |
| Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。 | a | 入園説明会の開催・入所面接の実施・入所のしおりの配布を通して説明がなされている。入園説明会はコロナ禍に配慮し、スペース確保と人数制限をして行っており、本年度も同様の開催を予定している。 |
| Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。 | a | 卒園児の行事への招待等により卒園後もつながりをもつよう努めている。保育要録の改定に伴い児童票の書式の変更、転園先からの相談対応等スムーズな接続となるよう配慮に努めている。 |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。 | | |
| Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | a | 保護者へのアンケートを実施し、意見や要望の把握に努めている。結果については職員会議等で検討し、対応にあたっている。 |
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | | |
| Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | a | 意見の受付については、掲示がなされており、苦情解決責任者・受付担当者・第三者委員の設置等受付体制の整備について周知がなされている。 |
| Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。 | a | 法人による苦情処理委員会が設置・開催されており、議事録がホームページにより公表されている。 |
| Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | a | 「苦情解決の手順」が定められており、職員単独での対応ではなく、管理者をはじめ園として丁寧に対応するよう努めている。 |

| | | |
|--|---|--|
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。 | | |
| Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | a | 事故およびヒヤリハット報告書が作成されており、事故発生防止委員会により原因の分析と経過が記載されている。また園内外の安全点検を実施し、子どもたちが安心して過ごせる環境形成に取り組んでいる。 |
| Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | a | 食中毒・感染症・応急処置・不審者対応のマニュアルが完備しており、職員に対してもスキルチャート評価にてその周知の確認がなされている。新型コロナウイルスへの対応についても食事、睡眠、衛生等への配慮がなされている。 |
| Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。 | a | 地震や火災想定による災害訓練・保護者の引き取り訓練・消防署からの指導・消防計画の立案などがなされている。訓練では職員があせらない・子どもたちをあせらせるような言動をしないことに留意して行われている。入園のしおりには非常時災害の処置についての記載があり、避難場所や心がまえについて周知がなされており、今後は小学校と連携した引き取り訓練などを検討している。 |

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

| | | |
|---|---|--|
| Ⅲ-2-(1) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。 | | |
| Ⅲ-2-(1)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。 | a | クラス別マニュアル、食事・睡眠等のサービスマニュアル、保健、栄養の各種マニュアルが完備されている。その内容はわかりやすいよう一覧表にまとめられている。 |
| Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | a | 各種マニュアルは定期および随時改訂がなされており、改訂履歴がマニュアル一覧に表記されている。新型コロナウイルス対応や保護者対応等について加筆修正を検討している。 |
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 | | |
| Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。 | a | 入園児に対しては、聞き取り調査によりアレルギーなど食事での留意事項・疾患・家庭状況などをアセスメントしている。 |
| Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。 | a | 年間・月間指導計画および子どもたち一人ひとりに対する個別指導計画が策定されている。児童票の書式を変更し、成長の確認しやすさ等に配慮している。 |
| Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。 | | |
| Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。 | a | 保育日誌および児童票は成長や健康状態等について詳細に記載がなされている。特に児童票については職員以外が見ても成長の様子がわかるように記載するよう指導にあたっている。 |
| Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。 | a | 子ども・保護者に関する記録については事務室内で保管がなされ、記載の際にも十分な配慮に努めている。文書保存年限について規定があり、適切な管理と対応にあたっている。 |

評価対象Ⅳ 内容評価基準

A-1 保育内容

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|--|
| A-1-(1) 養護と教育の一体的展開 | | |
| A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育過程を編成している。 | a | 全体的な計画は職員とともに検討し、毎年度見直しを行っている。権利擁護に対する職員の3つの誓い・職員の心得・発達を見通す目安を付し、園の方針を表している。 |
| A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と養育の一体的展開 | | |
| A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地良く過ごすことのできる環境を整備している。 | a | 園の室内および園庭も含めた室外の危険箇所のチェックなどを行う「園舎内外点検」が職員により行われており、小さな危険を見つけ出し対応を図っている。玩具については一つの遊び方だけで展開されないようなものを避け、子どもたちの創造力をのばせるよう努めている。 |
| A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。 | a | 「職員の3つの誓い」として子どもたちの尊重を約している。子どもたちの発達と育ちの背景を理解し、特に子どもたちへの言葉かけについては肯定的な言葉を使用するよう職員への指導に努めている。 |
| A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身に付けることができる環境の整備、援助を行っている。 | a | 3歳からは毎日ハンカチ・ティッシュを自宅から持参するなど基本的習慣が身につけられるよう丁寧な指導に努めている。着替え・トイレトレーニング・離乳食など子どもの気持ちに寄り添いながら援助に取り組んでいる。 |
| A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。 | a | 郊外に位置する広い園庭で奔放に遊べる環境を有しており、充実した遊具に加え、プランターでの野菜の栽培などが行われている。コロナ禍においてプール活動が縮小される中、ボディペインティング・すいか割り・を行うなど工夫と子どもたちの興味を大事にした保育が実践されている。 |
| A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a | 職員との関係性を築き、ゆったりとした環境の中で過ごすことができるよう配慮に努めている。また子どもだけでなく保護者の不安や心配に寄り添い、家庭との連携に努めている。 |
| A-1-(2)-⑥ 3歳児未満児（1・2歳児）の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a | 期ごとに細かな目標を定め、1年を通して様々な活動を通して経験を積めるよう保育を展開している。担当職員で情報を共有し、安定したクラス運営となるよう取り組んでいる。 |
| A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a | 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を意識し、様々な行事や活動を通して成長を支援している。子どもたちが積み重ねた自信に保育の成果を確認している。 |
| A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a | 巡回指導、療育機関との連携を通して保育にあたっている。保護者との連携、看護師等専門職との情報共有を図りながら対応にあたっている。 |
| A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。 | a | 保育時間が長くなる場合は、家庭的な雰囲気をつくりリラックスした中で過ごせるよう配慮している。職員間の申し送り・保育内容への思慮など配慮にあたっている。 |
| A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。 | a | 就学予定の小学校には子どもたちの様子を見てもらえるよう公開参観に招待するなどその連携に努めている。また保幼小連絡協議会への参加、児童票の書式変更などスムーズな接続が実現するよう取り組んでいる。 |

| | | |
|---|---|--|
| A-1-(3) 健康管理 | | |
| A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。 | a | 子どもたちの健康に関して記録・保管がなされている。「ほけんだより」の保護者への配布や疾病に対する注意喚起がなされており、朝夕には園庭で思い切り遊ぶことにより子どもたちの健康増進に取り組んでいる。 |
| A-1-(3)-② 健康診断・歯科検診の結果を保育に反映している。 | a | 保護者がいつでも確認できるよう、連絡帳とおたより帳に健康の記録が付されている。体調不良後の登園時等子どもたちが健康に過ごせるよう配慮に努めている。 |
| A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもに対し、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。 | a | 食物アレルギーをもつ子どもについて申請がある場合、栄養士・看護師等専門職を交えて食事への対応を協議している。除去食の提供、食器の変更、チェック体制の整備により安全な食事提供に取り組んでいる。 |
| A-1-(4) 食事 | | |
| A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。 | a | 年間食育計画が立案されており、ランチルームでの食事・食育の日の講話・作業が見られる調理室・行事にまつわる食事等々多様な活動・環境の整備がなされている。 |
| A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。 | a | 残食の確認と記録、食器への配慮、献立の工夫などにより安全でおいしい・一人ひとりの状態にあわせた食事の提供に努めている。また鏡開き・かつおのさばき方見学・レストランごっこ等々の食育は伝統の紹介・子どもの関心を広げるなど多様な効果をもたらしている。 |

A-2 子育て支援

| | 第三者評価結果 | コメント |
|--|---------|--|
| A-2-(1) 家庭との緊密な連携 | | |
| A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。 | a | 年に2回のクラス別懇談会・保育参観・保育参加を通して保護者との信頼関係を構築できるよう努めている。新型コロナウイルスの影響から一部中断をしており、クラスだよりでの発信や個別相談等により代替している。 |
| A-2-(2) 保護者等の支援 | | |
| A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。 | a | 連絡帳や送迎時のコミュニケーションにより子育ての相談に応じるよう努めている。本年度は緊急事態宣言下解除後に新入園児の慣らし保育が始められるなど保護者の不安に寄り添い・就労に配慮しながら進められている。 |
| A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。 | a | 登園時のチェック・日々の様子観察等を通して子どもと保護者の状況把握に努めており、関係機関との連携により対応に努めている。 |

A-3 保育の質の向上

| | 第三者評価結果 | コメント |
|---|---------|--|
| A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価） | | |
| A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。 | a | 職員一人ひとりが個別に目標を立て、掲示している。スキルチャートを使用し、自身の保育の振り返りをし、改善を通して保育力の向上に努めている。 |